

## 2013 年度事業報告

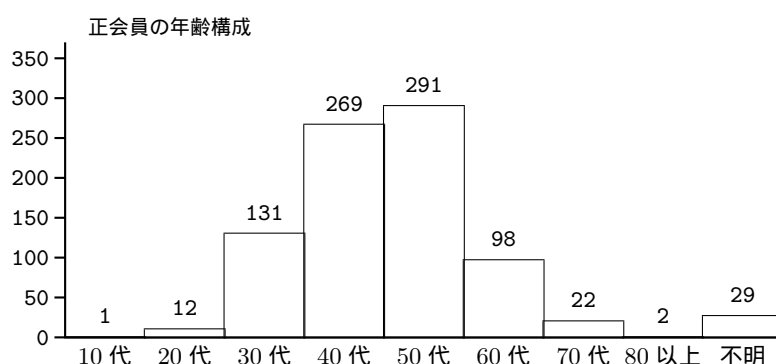
### 1. 会員

2014 年 3 月 31 日現在の会員状況は次の通りである。

正会員	855名	準会員	23名
名誉会員	3名	団体会員	7団体
学生会員	86名	賛助会員	5社

2013 年 3 月 31 日時点での正会員数は 866 名であり、そこから 11 名減少したことになる。

正会員の年齢構成を次のグラフに示す。50 才を越える正会員が 48%程度、40-49 才の正会員が 31%程度、30-39 才の正会員は 15%程度である。なお、20 代の正会員が少ないが、学生会員の多くは 20 代であろう。



### 2. 会議の開催

#### 2.1 総会（2013 年度）

日 時： 2013 年 6 月 11 日（火）18:00～19:00

場 所： 国立情報学研究所

出席者： 代表会員 37 名（委任状を含む）（代表会員総数 41 名）

議 案： 第 1 号議案 2012 年度事業報告の承認の件

第 2 号議案 2012 年度決算の承認の件

第 3 号議案 2013-2014 年度役員選任の件

議決の定数を超える 37 名（委任状を含む）の出席があり、柴山悦哉理事長を議長に、第 1 号議案、第 2 号議案を審議し、決算が適正であるとの 2012 年度監事の報告を受けて、満場一致でこれらを承認した。続いて第 3 号議案について審議し、役員候補者選挙で選出された役員候補者を役員として選任することも満場一致で議決した。

#### 2.2 理事会・役員会

理事会は、第 12 回（2013-05-15）から第 16 回（2014-03-18）まで 5 回開催した。役員会は、第 14 回（2013-05-15）から第 20 回（2014-03-18）まで 7 回開催した。2013 年度の理事及び監事は次の通りである。

理事長 加藤和彦

理 事 明石修 大山恵弘 栗原聡 権藤克彦

滝本宗宏 立石孝彰 廣津登志夫 胡振江

細部博史 増原英彦 丸山勝久 南出靖彦

吉岡信和 脇田建  
監 事 中谷多哉子 丸山宏

### 2.3 評議員会

平成 25 年度 (2013-09-12) 評議員会を東京大学本郷キャンパスにて開催し、学会運営について討議した。評議員会開催時における評議員は次の通りである。

牛島和夫	大沢英一	大堀淳	大蒔和仁	大和田勇人
落水浩一郎	笈捷彦	片山卓也	亀山幸義	佐々政孝
佐藤周行	佐藤雅彦	武市正人	田中英彦	田中讓
玉井哲雄	近山隆	土居範久	東倉洋一	都倉信樹
所真理雄	中島震	中島秀之	中田育男	西田豊明
橋田浩一	疋田輝雄	平田圭二	深沢良彰	二木厚吉
二村良彦	古川康一	本位田真一	溝口文雄	森下真一
米崎直樹	米澤明憲			

## 3. 事業

### 3.1 機関誌編集

第 323 回 (2013-04-12) から第 327 回 (2014-02-07) まで、5 回の編集委員会を開催し、学会誌「コンピュータソフトウェア」第 30 巻 2~4 号および第 31 巻 1 号を発行した。これらは全て、サイバー増大号であり、冊子体とサイバーページ (電子出版) から構成した。また、「ネットワーク技術」(第 30 巻 2 号)、「ソフトウェア工学」(第 30 巻 3 号)、「ソフトウェア論文」(第 30 巻 4 号)、「サーベイ論文」(第 31 巻 1 号) の 4 回の特集を組んだ。

解説論文や解説記事の充実を図った。その結果、第 30 巻 2 号から第 31 巻 1 号までの合計で、解説論文 14 編、ソフトウェア紹介 2 編が掲載された。

平成 21 年 6 月 4 日に導入されたレター論文には多くの投稿があった。第 30 巻 2 号から第 31 巻 1 号までの合計で、12 編のレター論文が掲載された。

2005 年度から開始した読者モニタ制度をアナウンスし、応募者の中から選定された 3 名のモニタから機関誌および各記事に関するさまざまなフィードバックを得た。

第 18 回研究論文賞として、以下の 2 件を選定した。

- ・ 泉田大宗, 森彰, 二木厚吉: 「展開型静的解析と動的解析を連携させたマルウェア解析手法」, Vol. 29, No. 4 (2012)
- ・ 栗原一貴: 「CinemaGazar: 動画の極限的な高速鑑賞のためのシステムの開発と評価」, Vol. 29, No. 4 (2012)

また、第 3 回ソフトウェア論文賞として、以下の 2 件を選定した。

- ・ 小菅祐史, 河野健二: 「Amberate: Web アプリケーションの脆弱性自動検出フレームワーク」, Vol. 28, No. 4 (2011)
- ・ 鍋島英知, 岩沼宏治, 井上克巳: 「GlueMiniSat 2.2.5: 単位伝搬を促す学習節の積極的獲得戦略に基づく高速 SAT ソルバー」, Vol. 29, No. 4 (2012)

2013 年度の編集委員会の構成は次の通りである。

編集委員長	田中二郎
編集副委員長	鯨坂恒夫 権藤克彦
編集顧問	上田和紀 竹内郁雄

編集担当理事	増原英彦	細部博史			
編集委員	青木利晃	明石修	阿萬裕久	石川冬樹	和泉順子
	岩崎英哉	馬谷誠二	亀山幸義	河内谷清久仁	川端英之
	栗原一貴	栗原聡	河野恭之	河野健二	小宮常康
	小林隆志	沢田篤史	首藤一幸	住井英二郎	高橋伸
	寺田努	豊田正史	中野圭介	並木美太郎	西崎真也
	林晋平	松田一孝	松原繁夫	真野健	丸山勝久
	美馬義亮	望月茂徳	門田暁人	結縁祥治	横山大作
	鷺崎弘宜				

### 3.2 企画委員会

合計7回の企画委員会を開催し、各種の企画にあたった。2014年度は、学生や企業の技術者を中心に大会参加者を増加させ、インターネットを通じて学会活動を広くしらしめるための企画、および各研究会の交流を活発にするための企画に重点をおいた。具体的には、講演会の模様をインターネット配信する講演会FTD(Future Technology Design)や全研究会の活動を紹介するポスターセッションを企画した。そして、FTDの講演映像はYouTubeを通じて配信した。

2013年度の企画委員は次の通りである。

企画委員長	吉岡信和			
企画担当理事	廣津登志夫	吉岡信和	丸山勝久	
企画委員	青柳滋己	網代育大	石尾隆	大平雅雄
	大平雅雄	大森隆行	栗原聡	來間啓伸
	田辺良則	中野圭介	福田茂紀	前田俊行
	満田成紀	宮下芳明	廣海緑里	横山大作
	米澤拓郎	番原睦則		

### 3.3 大会

学会創立30周年を記念して開催された第30回全国大会は、2013年9月10日～13日に、東京大学本郷キャンパスにて開催された。参加者は321名(正会員：108名、一般非会員：119名、当日受付：94名)であった。昨年に引き続き、今年も登壇発表者の条件を緩和し、共著者に会員が含まれていれば非会員でも登壇発表できることとした。登壇発表件数は82件であった(内訳は、一般セッション：19件、研究会セッション：41件、ソフトウェア論文セッション：3件、萌芽セッション：19件)。登壇発表に関しては講演論文集(ISSN 0913-5391)をインターネット(大会ホームページ)を介して配布した。また、インターネット(大会ホームページ)からもダウンロード可能とした。招待講演は、大堀淳氏(東北大学)による「関数型言語 SML#の開発 我が国のソフトウェア産業新生へのささやかな貢献を目指して」と、久世和資氏(日本アイ・ピー・エム)による「New Era of Computing」の2件である。

プログラム構成としては、新企画として、30周年を記念する企画として、これまでにない現代的で斬新な企画を設けたいという議論から、社会で広く好評を博しているTED(Technology Entertainment Design)を参考としつつ、本学会の特性を考慮した、FTD(Future Technology Design)なる企画を計画・実施した。本学会や、本学会が関連する分野で生まれたアイデアを広く社会に知って頂くことを目指し、動画収録・公開を前提として準備されたプレゼンテーションを、8名の講演者をお願いした。

同じく新企画として、インタラクティブシステムとソフトウェア研究会 (ISS) による「WISS TOKYO」と題したワークショップを行った。同研究会は毎年、「インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS)」を開催しており、2012年に20周年を迎えた。そこで、より多くの方々にWISSのことを知って頂くために、WISSで議論されてきた内容を広く社会に紹介するイベントとして企画され、講演が行われた。なお、例年と同じく、大会併設イベントとしてPPLサマースクールチュートリアル「高階モデル検査とその応用」も開催されている。

また、今大会では、日本のソフトウェア研究を代表する研究者の一人であり、本学会においてもWOOC (オブジェクト指向計算ワークショップ) や学会誌「コンピュータソフトウェア」で活発な研究活動を行いながらも、2012年12月に急逝された本田耕平氏を偲ぶセッションが開催された。

大会の詳細な内容は、学会誌記事「日本ソフトウェア科学会第30回大会報告」(加藤和彦, Vol. 31, No. 2, pp. 12-18, 2014) で報告されている。

今大会における優れた登壇発表に対して与えられる高橋奨励賞と学生奨励賞の受賞者は以下の通りである。

#### 高橋奨励賞

- ・石井大輔 (東京工業大学): 「最強事後条件の計算を用いたハイブリッドオートマトンの帰納的検証」
- ・五十嵐淳 (京都大学): 「多段階計算  $\lambda^P$  のための越段階埋込」
- ・藤田憲悦 (群馬大学): 「ラムダ計算の型問題を支配する本質的情報について」

#### 学生奨励賞

- ・佐藤重幸 (電気通信大学): 「構文主導型データフロー解析の並列実装」
- ・西田尚史 (筑波大学): 「大規模なノード故障やネットワーク分断に対する可用性を持つ受動的複製手法」
- ・宮原和大 (早稲田大学): 「グラフ書換え系におけるグラフ構造の効率的な一意バイト列生成手法」

第30回大会の役員は次の通りである。

大会委員長	柴山悦哉			
プログラム委員長	加藤和彦			
研究会企画委員長	吉岡信和			
運営委員長	田浦健次朗			
広報委員長	脇田建			
プログラム委員	加藤和彦	五十嵐健夫	大沢英一	栗原聡
	光来健一	小宮常康	首藤一幸	杉山安洋
	千葉滋	鶴岡慶雅	寺岡文男	中島秀之
	廣津登志夫	胡振江	吉岡信和	脇田建
大会担当理事	栗原聡	胡振江		

### 3.4 講習会

2013年度は大会併設のPPLサマースクールを開催するとともに、30周年特別企画FTD (Future Technology Design) を開催した。

### 3.5 研究会

2013年度は、次の7研究会が活動した。各研究会の主な活動は下記の通りである。

- (1) 「プログラミング論」研究会（主査：千葉滋）  
サマースクール PPL Summer School 2013 主催（2013-09-10, 大会併設）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）  
ワークショップ PPL2014 主催（2014-03-05～07）
- (2) 「マルチエージェントと協調計算」研究会（主査：大沢英一）  
合同ワークショップ & シンポジウム JAWS2013 共催（2013-09-17～20）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）
- (3) 「インタラクティブシステムとソフトウェア」研究会（主査：五十嵐健夫）  
ワークショップ WISS2013 主催（2013-12-04～06）  
20周年記念イベント（WISS TOKYO）（2013-09-10, 大会併設）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）
- (4) 「ソフトウェア工学の基礎」研究会（主査：杉山安洋）  
ワークショップ FOSE2013 主催（2013-11-28～30）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）
- (5) 「インターネットテクノロジー」研究会（主査：廣津登志夫）  
ワークショップ WIT2013 主催（2013-06-20～21）  
コンファレンス IC2013 共催（2013-10-24～25）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）
- (6) 「ディベンダブルシステム」研究会（主査：光来健一）  
ワークショップ DSW2013 開催（2013-12-26～27）  
大会研究会セッション開催（2013-09-11～13）
- (7) 「ネットワークが創発する知能」研究会（主査：中島秀之）  
ワークショップ JWEIN2013 開催（2013-08-30～09-01）  
国際ワークショップ WEIN2013 主催（2013-06-6）  
SIG-EIN & JSAI SIG-DOCMAS 合同合宿 主催（2013-11-25～27）

さらに、次の1研究会が設立された。

- (1) 「実践的IT教育」研究会（主査：楠本真二）

### 3.6 共催・協賛

会議等の共催・協賛・後援の承認件数は以下の通りであった。

共催：0件 協賛：11件 後援：2件

### 3.7 広報関係

本学会の Web ページ (<http://www.jsst.or.jp/>) および会員メーリングリスト ([jsst\\_members@jsst.or.jp](mailto:jsst_members@jsst.or.jp)) を通じて、会員への情報提供を行った。

### 3.8 基礎研究賞

ソフトウェア科学分野の基礎研究において顕著な業績を挙げた研究者に対して、基礎研究賞を授与しその功績を称える制度を2008年度に設けた。6年目にあたる2013年度は、以下の2名を選定した。

- ・伊藤孝行氏（名古屋工業大学）

授賞業績：マルチエージェントシステムにおける交渉・協調機構に関する研究  
・二木厚吉 氏（北陸先端科学技術大学院大学）  
授賞業績：代数仕様言語に関する研究

2013 年度の基礎研究賞選定委員会の構成は次の通りであった。

加藤和彦（理事長）

田中二郎（編集委員長）

上田和紀 権藤克彦 寺岡文男 中島震 横尾真

#### 4. 選挙

2014 年度定時社員総会で任期満了となる役員（理事 8 名，監事 1 名）に対する選挙は，2013 年 11 月 15 日に公示され，2014 年 1 月 10 日まで候補の推薦を受け付けた。その結果，役員選挙候補者（理事）として 8 名，役員選挙候補者（監事）として 1 名の立候補があった。全員が役員候補者選考委員会にて候補者として選考され，2014 年 3 月 3 日から 2014 年 3 月 17 日までの期間の正会員による投票に付された。同時に役員選挙候補者選考委員の正会員による審査も行われた。結果は次の通りであった。

役員候補者（理事）選挙 選出

大山恵弘 加藤和彦 栗原聡 細部博史

南出靖彦 河合栄治 櫻井祐子 八杉昌宏

役員候補者（監事）選挙 選出

中島震

役員候補者選考委員 信任

上田和紀 大堀淳 柴山悦哉 寺岡文男 本位田真一

役員選挙候補者（理事・監事）全員がそれぞれ，社員総会における役員選任の対象候補者として選出され，また，役員候補者選考委員全員が信任を受けた。

なお，この選挙における選挙管理委員会の構成は次の通りである。

選挙管理委員会

河野健二 佐藤周行 吉田健一